

平成26年度
(平成25年度対象)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

印西市教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
1 趣旨	2 頁
2 点検評価の対象	2 頁
3 点検評価の方法	2 頁
4 点検評価結果の構成	2 頁
参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (第27条)	3 頁
5 印西市の教育施策	4 頁
6 主な施策	5 頁
印西市の「教育施策の体系」	7 頁
点検評価結果	9 頁
目次	10 頁
評価結果	11 頁
おわりに	31 頁
1 評価内訳	32 頁
2 施策別評価	34 頁
3 まとめ	34 頁

はじめに

1 趣旨

市教育委員会では、平成17年度から教育施策の基調を「健やかな心と体を育む教育」と定め、この基調による目標のもと、事業の実施に努めているところですが、平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、「教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表すること」となりました。昨年度は、平成24年度「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、各分野の学識経験者の皆様よりご意見をいただき、報告書を取りまとめ、公表しました。この「内部点検評価」の作業及びいただいたご意見を参考にすることで、平成25年度中に施策の進捗状況を再確認し、効果的な施策の展開に寄与することができたと考えております。

今年度も平成25年度の「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、報告書に取りまとめました。これを公表し、市民のみなさまからご意見をいただき、よりよい教育の実現に向けて、取り組みを進めてまいりたいと考えています。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、平成25年度版印西市の教育施策（以下「教育施策」という。）における事業の実施内容について、点検を行い、印西市教育委員会としての自己評価を報告書としてまとめました。

3 点検評価の方法

点検評価の方法は、教育施策中の「主な事業」毎に、平成25年度に実施した実施内容及び実績を明らかにするとともに、それに基づいた施策の内部評価を客観的に行い、課題を分析し、今後の事業に活かすものとします。なお、法律に明記されている「学識経験を有する者の知見の活用」については、学校教育、生涯学習、スポーツ振興それぞれの分野の学識経験者の皆様（元市学校長、元市社会教育指導員、市体育協会役員）に、御意見をいただきました。

（点検評価の流れ）

○事業点検…主な事業毎の事業内容点検（点検者：担当課長）

↓

○施策評価…主な事業評価（評価者：教育長、部長。学識経験者知見活用）

↓

○総合評価…教育委員会会議における最終評価（評価者：教育委員）

4 点検評価結果の構成

教育施策中の「主な施策」毎の「主な事業」における「事業内容」を平成2

5年度に実施すべき事業目標と位置付け、この実施状況について点検を行い、「主な事業」毎に内部評価しています。

表の項目について

○事業……「主な事業」毎に掲げている事業です。

○事業内容（平成25年度目標）……事業の具体的内容です。教育施策は、当該年度の事業計画書であり、教育施策中の主な事業における「事業内容」は、実施すべき具体的事業内容であることから、平成25年度目標と位置付けています。

○平成25年度実績……平成25年度目標に対し、実際に実施した事業の内容、回数などを具体的に記載しています。

○施策評価……「主な事業」毎に、事業の進捗を点検し、印西市教育委員会が内部評価しました。評価指標は「A、B、C」の三段階評価とし、以下の内容を基準としています。

A 事業の目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。

B 事業の目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。

C 未達成事業が多く、施策の進捗がほとんど認められない。

○評価理由……「A、B、C」の評価を行った理由を示しています。

○今後の課題……重点施策の実現に向けて、今後の方向性を示しています。

《参 考》地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

〔昭和31年6月30日法律第162号〕

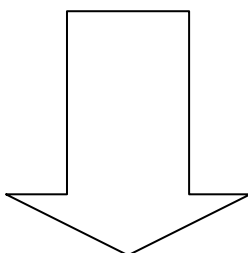
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

教育施策の基調

健やかな心と体を育む教育



主な政策と施策

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

- ◇健やかな心と体を育む教育の推進
- ◇活力ある学校づくり
- ◇学校・家庭・地域の連携強化

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

〔生涯学習・生涯スポーツ〕

- ◇生涯学習活動の支援
- ◇生涯学習推進体制の充実
- ◇青少年の健全育成
- ◇スポーツ環境の整備・充実
- ◇スポーツ推進体制の充実

III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化〕

- ◇文化・芸術活動の推進
- ◇文化財の保護・活用
- ◇市史編さん事業の推進

6 主な施策

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

これからの教育には、変化の激しい社会を担う子どもたちに、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の3本を柱とする「生きる力」をつけることが求められている。

その中でも本市は、特に健やかな心と体を育む教育を基調とし、道德教育の充実や豊かな体験活動、情報教育やICT活用の推進、芸術文化体験事業や読書活動の推進、教科体育の充実、運動部活動の推進や小学校駅伝競走大会、食育や生活習慣づくりなどを通して健やかな心と体の育成に向けて取り組んでいく。

さらに、教職員の専門性と指導力の向上を図り、子どもの学ぶ意欲の向上に努め、生涯学習の基礎づくりをめざす。

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する〔生涯学習・生涯スポーツ〕

生きがいを持ち、心豊かで充実した生活を送れるよう、生涯にわたって学習できることが重要となっている。さらに、国際化・情報化等の進展に伴う、価値観の多様化と社会の急激な変化に対応するため、情報を見極め、個人の適性に応じた知識や技術を習得し、活用していく必要性が高まっている。

こうした市民の多様な学習ニーズと現代的課題に適切に対応するため、多様な生涯学習情報と公民館・図書館等の学習活動の場を提供することにより、学習機会の拡充を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたってさまざまな分野で自ら学ぶことのできる学習環境をつくり、市民の生涯学習活動を推進する。

また、公民館や図書館等の生涯学習・社会教育施設の維持・管理や指導者の確保、高等教育機関等との連携・協力を図り、生涯学習推進体制を充実する。

さらに、親と子の絆を強めて、子どもの生きる力の基礎となる家庭教育を充実させるとともに、子ども達が安全・安心で健やかに成長できるように、地域で行われる青少年健全育成活動を推進し、地域で活動する市民団体を支援する。

スポーツ・レクリエーション活動は、市民の「こころ」と「からだ」の健全な発展をうながし、明るく豊かで活力に満ちた生きがいある社会の形成に寄与するもの

である。しかし、社会背景の変化に伴い、運動不足や体力の低下が問題となってきた。

このような状況の中で、当市においても高齢化の進展、余暇時間の増大、そしてライフスタイルの個性化・多様化などにより、スポーツに対する関心が高まり、気軽にスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の拡充が強く求められている。

このことから、市民が心身ともにたくましく健康で明るい生活が送れるよう、生涯にわたってそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会の拡充を一層推進する。

Ⅲ．心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化〕

私たちを取り巻く社会環境の大きな変化に伴い、多様なライフスタイルが追求され、暮らしに生きがいやゆとり、潤いをもたらす文化的価値が重視されてきている。

こうした中で、市民一人一人がゆとりある充実した生活をおくるためには、文化に親しみ、自ら文化創造の担い手となることを基本として、魅力に富んだ地域文化の形成が求められている。

また、文化は古くからその地域の自然・歴史・伝統と共存しながら、そこに住む人々の長い生活の営みによって生まれ、独自のものを形成してきた。ところが、昨今の急激な都市化の進展に伴い、社会構造や生活環境が大きく変貌する中で、伝承されてきた生活技術や習慣の多くが忘れ去られようとしている。

このことから、市民の自主的で創造的な文化芸術活動の推進や市民の文化芸術に対する関心を高めるため学習機会や学習情報の提供などを積極的に行い、ゆとりと潤いのある文化芸術活動の盛んなまちづくりを展開する。

さらに、市民の心のよりどころとなる文化遺産を保護し、次の世代に継承するため、積極的に調査研究するとともに、その保存・活用に努め、伝承文化の振興を図る。

印西市の教育施策の体系

基 調	主 な 政 策	主 な 施 策	主 な 事 業
-----	---------	---------	---------

健やかな心と体を育む教育

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む
〔学校教育〕

1 健やかな心と体を育む教育の推進

- (1) きらり輝く印西の子ども育成事業の推進
- (2) 読書活動の推進
- (3) 食育の推進
- (4) 健やかな体を育む教育の推進
- (5) 豊かな心を育む教育の推進
- (6) 幼児教育の充実

2 活力ある学校づくり

- (1) 学習指導の充実
- (2) きめ細やかな教育支援の推進
- (3) 国際理解教育の推進
- (4) 教育の情報化の推進
- (5) 特別支援教育の推進
- (6) 学校・幼稚園施設の充実

3 学校・家庭・地域の連携強化

- (1) 学校安全の推進
- (2) 開かれた学校づくりの事業
- (3) 教育資源の活用

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する
〔生涯学習・生涯スポーツ〕

1 生涯学習活動の支援

- (1) 生涯学習ガイドの発行
- (2) 市民アカデミーの充実
- (3) 公民館・地域交流館事業の充実
- (4) 図書館サービスの充実
- (5) 視聴覚資料を活用した学習機会の充実
- (6) 生涯学習まちづくり出前講座の実施

2 生涯学習推進体制の充実

- (1) 生涯学習環境の整備・充実
- (2) 産学官民の連携・協力
- (3) 社会教育関係団体の支援

3 青少年の健全育成

- (1) 「こども110番の家」の推進
- (2) 青少年健全育成大会の実施
- (3) 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実
- (4) 成人記念式典の実施
- (5) 子ども読書活動の推進
- (6) 家庭教育学級の充実

4 スポーツ環境の整備・充実

- (1) スポーツ参加機会の拡充
- (2) 特色あるスポーツ事業の展開
- (3) スポーツ・レクリエーション施設の充実

5 スポーツ推進体制の充実

- (1) スポーツ指導者等の育成
- (2) 総合型地域スポーツクラブへの支援

III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る
〔文化〕

1 文化・芸術活動の推進

- (1) 文化・芸術に触れる機会の拡大
- (2) 市民の自主的な活動の支援

2 文化財の保護・活用

- (1) 文化財の保護
- (2) 文化財の活用

3 市史編さん事業の推進

- (1) 市史編さん事業の推進
- (2) 地域史料の保存と活用

点検評価結果

点検評価結果 目次

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 健やかな心と体を育む教育の推進

(1) きらり輝く印西の子ども育成事業の推進	11頁
(2) 読書活動の推進	11頁
(3) 食育の推進	11頁
(4) 健やかな体を育む教育の推進	12頁
(5) 豊かな心を育む教育の推進	13頁
(6) 幼児教育の充実	13頁

2 活力ある学校づくり

(1) 学習指導の充実	14頁
(2) きめ細やかな教育支援の推進	15頁
(3) 国際理解教育の推進	15頁
(4) 教育の情報化の推進	16頁
(5) 特別支援教育の推進	16頁
(6) 学校・幼稚園施設の充実	17頁

3 学校・家庭・地域の連携強化

(1) 学校安全の推進	18頁
(2) 開かれた学校づくりの事業	18頁
(3) 教育資源の活用	19頁

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

〔生涯学習・生涯スポーツ〕

1 生涯学習活動の支援

(1) 生涯学習ガイドの発行	20頁
(2) 市民アカデミーの充実	20頁
(3) 公民館・地域交流館事業の充実	20頁
(4) 図書館サービスの充実	20頁
(5) 視聴覚資料を活用した学習機会の充実	21頁
(6) 生涯学習まちづくり出前講座の実施	21頁

2 生涯学習推進体制の充実

(1) 生涯学習環境の整備・充実	21頁
(2) 産学官民の連携・協力	21頁
(3) 社会教育関係団体の支援	22頁

3 青少年の健全育成

(1) 「こども110番の家」の推進	22頁
(2) 青少年健全育成大会の実施	22頁
(3) 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実	22頁
(4) 成人記念式典の実施	23頁
(5) 子ども読書活動の推進	23頁
(6) 家庭教育学級の充実	23頁

4 スポーツ環境の整備・充実

(1) スポーツ参加機会の拡充	24頁
(2) 特色あるスポーツ事業の展開	24頁
(3) スポーツ・レクリエーション施設の充実	25頁

5 スポーツ推進体制の充実

(1) スポーツ指導者等の育成	25頁
(2) 総合型地域スポーツクラブへの支援	26頁

III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化〕

1 文化・芸術活動の推進

(1) 芸術・文化に触れる機会の拡大	27頁
(2) 市民の自主的な活動の支援	27頁

2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護	27頁
(2) 文化財の活用	28頁

3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進	28頁
(2) 地域史料の保存と活用	28頁

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 健やかな心と体を育む教育の推進

(1) きらり輝く印西の子ども育成事業の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①きらり輝く印西の子ども育成	<ul style="list-style-type: none"> ○特色ある教育活動への支援 ○小学校駅伝競走大会の開催 ○ものづくり体験学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○特色ある教育活動が特に顕著な12校を中心に、全ての学校の教育活動を支援した。 ○小学校20校の参加により実施。男女合わせて69チームが出場した。 ○大森小学校、永治小学校、高花小学校及び船徳小学校の児童を対象にものづくり体験教室を開催し、講師の匠の技に触れさせることができた。

施策評価	B
評価理由	三つの事業を通して、印西教育の特色を打ち出すことができた。
今後の課題	ものづくり体験学習の年間当たりの実施校を増やし、学校あたりの開催周期を短くしていくこと。

(2) 読書活動の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①読書活動の推進	○読書の奨励と指導の充実	○読み聞かせ5,160回、貸し出し総数156,145回、読み聞かせ、朝読書27校実施等で読書量の増加を図った。
②学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の資料の整備充実 ○市立図書館との連携事業の開催 ○学校図書館の環境整備と機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒用学校図書館の購入に当たり、情報交換会を行った。また、小学校19校において蔵書点検を行った。 ○学校図書館司書と市立図書館司書との連絡会を年5回実施した。(2回は学校図書館担当者を含めた会議) ○学校図書館システムにより、蔵書の管理や貸出記録の保存、学校間貸出に活用した。

施策評価	B
評価理由	学校図書館システムの活用及び学校図書館司書11名による全中学校配置、全小学校への派遣により、学校図書館環境の充実が図られた。
今後の課題	学校図書館司書の小学校配置日数を増加し、読書活動を一層推進すること。

(3) 食育の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①食に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○食に関する指導の全体計画に基づいた組織的な指導 ○栄養教諭等・養護教諭・学級担任らの連携による食育指導 ○栄養指導教室の開催(全小学校1・3年生対象) ○生活習慣病予防教室の開催(全小学校5年生・全中学校1年生対象) ○家庭・地域と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○「印西市食育ミニマム」を策定した。 ○栄養指導教室、生活習慣病予防教室で連携を図りながら実施した。 ○全小学校1年生・3年生を対象とした栄養指導教室を実施した。 ○学校給食センター栄養士が小学校5年生及び中学校1年生を対象に小児生活習慣病予防のための指導を行った。 ○食育通信を月1回発行し、家庭への啓発を行った。
②学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○献立の工夫と改善 ○衛生管理の徹底 ○給食残渣等の再資源化 ○食物アレルギーへの対策 ○学校給食センター老朽化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○千葉県産食材を6割以上使用し、千産千消を推進した。 ○牛乳保冷庫4台、冷凍庫1台、電気消毒保管庫4台、プレハブ冷蔵庫1台の給食用備品を入れ替え、安全安心な給食の提供に努めた。 ○給食残渣の堆肥化を業者に委託し、その再資源化を図った。 ○食物アレルギー調査、食物成分表を保護者に配付し、事故防止に努めた。各小中学校でエビベン研修、心肺蘇生法講習会を実施した。 ○破損、修繕の必要な個所に対して随時対応した。

施策評価	B
評価理由	食育を教育課程に位置付け、健康の維持増進に努めた。
今後の課題	栄養教室等を行っていない学年への授業支援の在り方。

(4) 健やかな体を育む教育の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○体育主任会議及び体育科研修会の開催 ○体力・運動能力調査の結果分析と活用 ○小学校駅伝競走大会の開催 ○中学校武道学習における積極的な外部指導者の活用 ○小学校陸上大会及び千葉県小中学校体育連盟印旛支部行事への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議を2回(小中学校各1回ずつ)、実技研修会を1回実施した。 ○テスト結果を分析し、学校保健体育事業の改善を図った。 ○小学校20校の参加により実施。男女合わせて69チームが出場した。 ○県事業の特別非常勤講師配置事業を活用し、4名の外部人材を5校に配置し、活用した。 ○役員の派遣並びに、児童送迎用のバスの配車を行った。
②運動部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動サポート事業による指導者派遣 ○部活動補助金交付事業による経済的支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○17名の部活動サポーターを派遣し、競技力の向上を図った。 ○各種県大会及び関東大会並びに全国大会の交通費等の経費について支援を行った。
③健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○保健指導教材の整備 ○薬物乱用防止教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健指導教材(血管モデル)や、歯科保健指導教材(位相差顕微鏡・かみかみセンサー)を各学校へ貸し出し、事業の充実に努めた。 ○北総地区少年センター職員を講師として、薬物乱用防止教室を実施した。
④学校保健会の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携 ○各専門部会(学校薬剤師、栄養士、養護教諭)の活動の支援 ○「印西市の学校保健」(小冊子)と学校保健会報の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校保健理事会を1回実施した。 ○学校薬剤師会2回、栄養士部会3回、養護教諭部会4回をそれぞれ実施した。 ○「印西市の学校保健」(小冊子)年1回と学校保健会報を年3回発行した。
⑤健康診断の実施と事後措置の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前児・児童・生徒の健康診断の実施 ○健康診断結果の集計と分析 ○個別指導の充実(治療勧告) 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒への定期健康診断(内科・歯科・耳鼻科・眼科・尿検査・結核等)及び就学時健康診断を実施した。 ○健康診断結果を「印西市の学校保健」にまとめた。 ○健康診断結果に基づき、個別指導を実施した。
⑥小児生活習慣病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ○小児生活習慣病予防検討部会の開催(学校医、養護教諭、栄養教諭等) ○小児生活習慣病予防検診の実施(小学校5年生、中学校1・3年生対象) ○養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防教室及び事後指導・個別相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○年2回開催し、結果に基づいた事後指導等について検討した。 ○小学5年生、中学1年生・3年生を対象に実施し、必要な者には受診勧奨を行った。 ○小学5年生、中学1年生を対象に予防教室を行った。(小学校1時間、中学校2時間)また、必要に応じて個別に事後指導や相談を行った。
⑦口腔衛生事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校歯科保健検討部会の開催(学校歯科医、養護教諭、歯科衛生士等) ○学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○年2回開催し、その結果に基づいた事後指導及びブラッシング指導等について検討した。 ○学校歯科医や歯科衛生士による歯科保健指導を全ての小中学校で行った。
⑧保健室機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○保健室の整備 ○健康相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校からの要望に基づき、必要に応じて備品等の整備を行った。 ○養護教諭を対象とした研修を実施した。
⑨学校環境衛生の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○環境衛生検査の実施(水質検査、照度検査、空気検査等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○照度、証明検査、飲料水・プール水質検査、空気環境調査(ホルムアルデヒド・二酸化炭素・二酸化窒素)、ダニアレルゲン検査、配膳室衛生検査を実施した。

施策評価	B
評価理由	健康教育を教育課程に位置付け、児童生徒の健康の維持増進に努めた。概ね計画通りに事業を行うことができた。
今後の課題	中学校保健体育における武道の外部指導者の派遣体制の充実及び安全管理を徹底すること。

(5) 豊かな心を育む教育の推進

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①道徳教育の充実	○道徳教育全体計画の改善と校内推進体制の充実 ○道徳教育集中研修会の実施	○各学校の道徳推進教員を中心に計画の見直しや指導の実践を図った。 ○教職員の指導力向上のため、年2回の研修会を設けた。
②人権教育の推進	○人権教育全体計画の改善と心を育てる教育の充実 ○人権教育研修の実施 ○いじめに関するアンケートの定期的な実施 ○家庭・地域や関係機関との連携による人権意識の啓発	○法令等を再認識し、学校での取り組みについて指導した。 ○全ての小中学校において、人権研修会を実施した。 ○各校の実態に合わせ、年2～3回実施した。 ○学校便りをはじめ、学年・学級日より、ホームページにおいて学校の取り組みについて情報の発信を図った。
③芸術文化体験事業の充実	○さわやかハートフルコンサートの開催 ○小学校芸術鑑賞教室の開催	○全小中学校が参加し、合奏と合唱を演奏・鑑賞した。 ○小学校6年生を対象に、古典芸能である神楽と落語を鑑賞した。
④体験活動の推進	○中学校職場体験学習の実施と小学校就業密着観察学習の支援 ○奉仕等体験活動の実施 ○自然体験学習の実施 ○みどりの少年団活動の推進	○全校が中学2年生、小学6年生で実施した。 ○学校や地域の美化活動を中心に実施した。 ○各学校において、児童生徒の実態に応じた自然体験学習を実施した。 ○市内全校が緑化活動に取り組んだ。内野小学校の5年生14人が少年団交流会に参加した。
⑤郷土愛を育む教育の推進	○各小・中学校に設置している「歴史資料室」内容の充実 ○地域の伝統芸能の体験 ○社会科副読本の活用による地域の先人の業績の学習 ○地域教材の開発	○子どもたちにわかりやすい内容にするよう助言するとともに、教育センターホームページでいくつかを紹介した。 ○永治小学校や本塾中学校、小林小学校などが神楽等の伝統芸能を体験した。 ○吉植庄一郎や大菅喜一などの先人の業績を社会科副読本に盛り込み、各学校の学習に役立てた。 ○社会科副読本作成の過程で、手賀沼の干拓や戦後草深の開拓を地域教材を盛り込んだ。

施策評価	B
評価理由	事業が概ね計画通り実施できた。
今後の課題	「命を大切にする」教育を学校だけでなく、全家庭と連携して推進すること。

(6) 幼児教育の充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①幼稚園職員研修の充実	○保育実技研修への参加奨励 ○園内研修会の開催	○各幼稚園に対して、夏季保育実技研修会への参加を奨励し、多数の職員の参加を得ることができた。（2日間） ○幼児教育充実のために、リズム体操研修会（2回）及び特別支援教育研修（2回）を実施した。

施策評価	B
評価理由	幼児教育充実のために、職員の専門性や実践力の向上において一定の成果が見られた。
今後の課題	子どもの年齢に応じた発達を促し、一人ひとりの個性や可能性を伸ばしていけるよう、幼児教育に関する各種研修会への積極的な参加や園内研修の質の向上に努める。園内研修については各幼稚園の状況に応じた研修内容の見直しと充実を努める必要がある。

2 活力ある学校づくり

(1) 学習指導の充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①個性や能力を伸ばす教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の機能を重視した「わかる授業」展開の推進 ○基礎学力向上のための対策の推進 ○個に応じた指導方法の工夫・改善及び指導体制の充実 ○ICTを活用した授業づくりの推進 ○学力向上プロジェクトの実施 ○学校支援ボランティア・学生ボランティアの活用（東京電機大学、順天堂大学、聖徳大学、日本医科大学看護専門学校との連携） ○教職インターンシップ「あすなる先生」の派遣（秀明大学との連携） ○少人数学習指導員の配置 ○デジタル教材の効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校へ年2回訪問するとともに、学校の要請に応じて訪問指導を実施した。 ○各学校にドリルタイムを設定等の工夫をし、計算・漢字等の基礎学力の向上を図った。 ○教育センターの研修会で扱った。 ○既存の電子黒板を利用した授業を実施した。中学校6校にタブレットPC240台・電子黒板機能プロジェクタ6台を導入した。 ○学習指導案を作成しての授業研究を全教職員が行い、指導力の向上を図った。また、指導主事を積極的に派遣した。 ○604名のボランティアを述べ12.435回活用し、学習指導の充実と学習環境の整備を図った。 ○小中学校に28名派遣し、学校の活性化を図ることができた。 ○学務課と連携し、学校の実態に応じて適切に配置している。 ○各小学校に対してデジタル教科書を配備。授業での活用を促進した。
②主任・推進教職員等研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教務主任研修会の開催 ○生徒指導担当者研修会の開催 ○情報教育研修会の開催 ○国際理解教育担当者研修会の開催 ○学校図書館担当者研修会の開催 ○体育主任研修会の開催 ○安全主任研修会の開催 ○養護教諭研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の開催 ○教育相談研修会の開催 ○道徳教育集中研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育センターにて校務システム研修等を実施した。 ○全小中学校生徒指導会議を年3回実施。また中学校は併せて中学校生徒指導連絡協議会を5回実施した。 ○全小中学校で教育課程の編成について研修した。 ○全小中学校の担当教員等を対象に年2回の研修会を実施した。 ○全小中学校の担当教員等を対象に年2回の研修会を実施した。 ○全小中学校体育主任等を対象に年2回研修会を実施した。 ○地域防災体制の確立及び市防災マニュアルの作成について、研修会を実施した。 ○校務システムの活用方法についての研修会を実施した。 ○役割とその取組についての研修会を実施した。 ○不登校・指導法等について、8回の教育相談基礎講座を実施した。 ○理論研修・実践研修・実践報告会の順で研修会を実施した。
③指導法等の研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○全教科教材研究等に関する研修会の開催 ○学習指導法等に関する研修会の開催 ○実技研修会の開催 ○ICT活用研修会の開催 ○情報教育研修会の開催 ○特別支援教育研修会の開催 ○人権教育研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育センターの研修会で扱った。 ○教育センターの研修会で扱った。 ○教育センターにおいて、5教科2領域について8講座を開催し、指導力の向上に努めた。（含学習指導法） ○体育科、理科やICT関連の実技研修を実施した。 ○ICT関連の実技研修を実施した。 ○教科指導における情報教育やICT活用研修を実施した。 ○介助員を含めた研修を年2回実施するとともに、通常学級における特別支援教育の研修会を実施した。また、各小中学校において、人権研修を実施し、指導主事が指導にあたった。
④校内研修の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○授業研修での指導・助言 ○評価についての研修の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○各小中学校に、指導主事等を派遣し、指導・助言をした。 ○指導主事を派遣し、思考・判断・表現力の育成を中心に行った。

⑤教育課題調査・研究・開発	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力調査と活用 ○教育に関する調査・研究・開発 ○教育研究の奨励・普及 ○教材の研究開発 ○教科指導法の指導・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の要請による授業研究会等において、評価規準や評価方法についての指導を行った。 ○全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査の結果について調査し、考察を加えて各学校に指導法改善の周知を図った。 ○各教育研修会や学校の研修会で奨励や普及に努めた。 ○印西市教育センターにおいて、社会科副読本やSNS等対応ネットリテラシー教材等を作成した。 ○指導主事を派遣し、教科指導に関する指導及び支援を行った。
⑦市教育研究会支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員による自主講座の開催 ○市教育研究会運営支援 ○市教育研究会への指導・助言 ○各研究団体の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中教職員38名を対象に管理運営に関する研修を実施した。 ○指導主事の派遣による指導助言を行った。 ○指導主事の派遣による指導助言を行った。 ○要請に応じ、指導主事を派遣した。

施策評価	B
評価理由	事業が概ね計画通り実施できた。
今後の課題	漢字や社会科、算数コンテンツの開発。

(2) きめ細やかな教育支援の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①適応指導教室事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○適応指導教室の充実 ○連絡会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生15名小学生5名(全20名)が通室した。年度内に学校復帰を果たした児童生徒は10名であった。 ○月1回保護者会を設け、毎回1～2名程度の保護者が参加し、思いを語り合うことができた。
①教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○面接相談・電話相談の充実 ○不登校児童生徒等の相談の充実 ○関係機関との連携 ○訪問指導の充実 ○スクールカウンセラー等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○面談件数は137件電話相談件数124件であった。そのうち「子ども相談室」の利用は73件であった。 ○定期的なケース会議を実施した。 ○学校だけではなく、市の相談機関との連携を図ってきた。 ○訪問相談担当教員を活用し、相談の充実を図った。 ○中学校9校に配置されたスクールカウンセラーが学区の小学校のケースに関わることができた。

施策評価	B
評価理由	事業が概ね計画通り実施できた。
今後の課題	カウンセラーの研修の在り方をどうしていくか。

(3) 国際理解教育の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語指導助手(ALT)の活用 ○日本語指導員の派遣 ○小学校高学年における外国語活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTを各小中学校に配置した。 ○日本語を介せない児童生徒のために日本語指導員を派遣した。 ○全ての小学校5・6年生における外国語活動の実施した。

施策評価	B
評価理由	ALT10名を活用し、全ての小中学校において国際理解教育の推進を図り、一定の成果を上げることができた。
今後の課題	平成23年度より小学校での外国語活動の必修化が始まり、小学校と中学校における指導の連携を更に推進する。また国際理解教育(外国語活動・英語科)の更なる充実のためにALTを増やしていきたいと考える。

(4) 教育の情報化の推進

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①教育関係資料収集・活用・教育広報	<ul style="list-style-type: none"> ○教育資料の収集・活用・提供 ○学校間グループウェアと文書管理システムを活用した教育関係資料・各種文書の電子化及び共有化 ○教育センターホームページによる教育広報推進 ○学校ホームページ及びメール配信システムの広報的機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校で実施した研究授業の指導案171本をデータベースに加え、各校の授業で活用できるようにした。 ○教育委員会からの通達文書を「デジタル職員室」を利用することで円滑に接受、校内回覧が行われるようにした。 ○センターホームページに各学校の取り組みを日々紹介し、平成25年度の1年間で70万件余りのアクセスを得た。 ○学校ホームページは各校で日常的に情報を発信しており、市内小中学校全体で年間150万件余りのアクセスを得た。
②情報教育及びICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○教科指導用ICT関連環境整備の充実 ○校務システムの機能充実 ○校務システムを活用した学籍・成績・保健等の校務情報化推進 ○公簿や文書、教育情報の電子化の推進 ○各システムやサーバー・端末等の適正な運用管理 ○情報セキュリティポリシー遵守の徹底 ○教育CIO及びICT支援員の配置、ヘルプデスク設置 ○情報教育及び教科におけるICT活用に関する研修の実施及び各学校への出前講座実施 ○学校図書館システムの活用推進 ○学生ボランティアの派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校6校にタブレットPC240台と電子黒板機能付きプロジェクト6台を配備。Windowsxp端末は全台入れ替えを実施。 ○校務システムを利用した指導要録等各種帳票の作成を継続。生徒指導情報の記録保存機能の利用推進を図った。 ○異動者・教務主任層対象の校務システム操作研修を年間4回実施し、各校での利用促進を図った。 ○教育委員会からの通達文書はほぼすべてデジタル化で配信。学校間グループウェアを活用して校内での電子回覧利用を促進した。 ○適宜保守管理を業者に委託し、トラブルへの迅速な対応を図った。 ○管理職研修会、教務主任研修会等でセキュリティポリシー周知を図った。 ○校務システムヘルプデスクを常設。各学校からの捜査上の質問に対応した。 ○ICT活用に関する校内研修に指導主事が訪問。また、個別の要請に対して指導主事が対応し、授業での機器利用について支援した。 ○各学校担当者を対象に図書システム研修会年間2回実施した。 ○指導主事の対応で間に合ったので、実施しなかった。

施策評価	B
評価理由	事業が概ね計画通り実施できた。
今後の課題	全校へのタブレット導入と教育センター設備の改善することによる指導力向上。

(5) 特別支援教育の推進

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①特別支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導計画の作成と活用 ○特別支援学級介助員の配置 ○通常学級指導員の配置 ○校内支援体制の充実 ○家庭、医療、関係機関等との連携 ○適応指導教室との連携 ○研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○実態把握を行い、個別指導計画を作成して一人一人に対応した指導・支援を行った。 ○33名を配置した。 ○44名を配置した。 ○巡回相談、専門家チームを実施し、各校への支援を図った。 ○一人一人のニーズに合わせた対応を図るため、必要に応じて指導・支援の方法について連絡調整を図った。 ○特別に支援を必要とする児童生徒に対し、支援の方法について連携を図った。 ○コーディネーター・通常学級担任・非常勤職員に向け、教育センター主催において各研修会を実施した。
②就学指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○就学指導委員会の開催 ○早期就学相談の実施 ○関係課 (社会福祉課・健康増進課・保育課・子育て支援課・指導課) 担当者会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○10名の委員により、年2回開催した。 ○5月に「就学相談会」を実施した。また、年間を通し、個別の就学相談を実施した。 ○市内の支援体制整備、ネットワーク部会の開催について、年5回開催した。

施策評価	B
評価理由	特別に支援を要する児童生徒の実態に応じ、通常学級指導員や介助員の適切な配置ができた。また、関係機関と連携し、早期就学相談を実施、円滑な支援教育・就学の充実を図れるようになってきた。
今後の課題	就学前児童の教育相談ファイルの存在の周知を目的にリーフレットを作成した。今後は、成果と課題を分析し更に充実した内容とすること、また合理的配慮の整理を行うことで有効活用を図っていくこと。

(6) 学校・幼稚園施設の充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①安全な学校施設の推進	○小・中学校施設の整備・充実	○各校の安全点検の結果及び各施設の状況を随時見直す中で、施設の瑕疵による事故を防止し、児童生徒の安全確保を図ることができた。
②ゆとりと潤いのある学校施設づくりの推進	○小・中学校施設の改修及び校庭整備の充実	○年度はじめより小倉台小学校の施設改修を実施。年度後半からは木刈中学校の改修を進め、学修環境の改善に努めた。
③設備・備品等の整備充実	○小・中学校及び公立幼稚園の計画的な備品整備	○各校の備品要望を基に、各備品の必要性や数量を検討した上で適正で計画的な整備となるよう努めてきた。
④学区の適正化	○通学区域の検討と部分的な調整	○25年度内で、市内小中学校の通学区域の検討や調整を要する開発等は見られなかった。

施策評価	B
評価理由	各小中学校の教材備品については、全体的に老朽化が進んでいることから、今後計画的な整備が必要である。
今後の課題	学区の適正化については、適正規模・適正配置を含めて、年間を通して継続的に検討を進めていく。

3 学校・家庭・地域の連携強化

(1) 学校安全の推進

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①安全教育の充実 (1)安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全教室の実施（全小・中学校） ○防犯教室の実施（全小・中学校） ○避難訓練の実施（全小・中学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前打ち合わせを行い、市内全小中学校で実施した。 ○市内全小中学校で実施した。 ○市内全小中学校で実施した。
②安全管理の充実 (1)児童生徒の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○防災計画・学校安全マニュアルの見直しと定期的な施設点検の実施に関する指導・助言 ○防犯ブザーの貸与（全小・中学生対象） ○メール配信システムの活用（全小・中学校） ○防災行政無線を活用しての見守り活動の推進（児童の声） ○安全主任等研修会の開催 ○「こども110番の家」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全主任等研修会で実施した。 ○市内全小学生に貸与した。 ○メール配信システムを継続活用し、各学校で家庭への登録を呼びかけるようにした。 ○継続的に実施した。 ○原山中学校の実践的防災教育総合支援事業の成果報告、地震防災マニュアルの作成について、研修会を実施した。 ○PTAと連携して進めている。
(2)通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な通学路安全点検の実施と警察・道路管理者等と連携した対応 ○児童・保護者・教師の点検による全小学校区の安全マップの作成及び関係機関への配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校の点検結果に基づいて、関係諸機関・市各課との合同点検を実施した。 ○安全マップを小学校1年生及び転入生に配付した。
(3)学校管理下における災害共済給付	<ul style="list-style-type: none"> ○日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入の推奨 ○災害給付手続きに関する学校への情報提供及び指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校を通じて、加入を推奨している。 ○主任保健師を中心に、適切に実施している。

施策評価	B
評価理由	事業が概ね計画通り実施できた。
今後の課題	地域との連携や家庭の安全教育力の向上。

(2) 開かれた学校づくりの事業

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①開かれた学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページを活用した学校広報の充実 ○開かれた学校づくりの推進（学校・家庭・地域の連携） ○学校評価による学校教育の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校で学校生活の様子を日常的に配信。市全体で年間120万件余りのアクセスを得ている。 ○学校だより、学校の行事計画をホームページ上で公開した。 ○各学校で学校評価を実施し、学校経営に反映した。

施策評価	A
評価理由	各学校ホームページの発信力が計画を大幅に上まり、保護者・地域等より高い評価を得ている。ホームページをきっかけに保護者・地域との交流が深まる例が多い。
今後の課題	学校評価を適切に生かした学校経営。

(3) 教育資源の活用

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
<p>①自然体験学習等の推進</p> <p>②キャリア教育の推進</p> <p>③交流事業の推進</p>	<p>○自然観察会の実施</p> <p>○親子体験学習の実施</p> <p>○「夢・仕事びったり体験」の支援（全小学校6年）</p> <p>○「印西市生き活き体験」の実施（全中学校2年）</p> <p>○地域の企業、職業人との連携</p> <p>○小中学校・幼稚園の交流活動の実施</p>	<p>○年2回開催し、各20組の参加を得た。</p> <p>○年3回開催し、各20組の参加を得た。</p> <p>○市内165事業所の協力のもとに実施した。</p> <p>○市内133事業所の協力のもとに全中学校で実施した。</p> <p>○小中学校において、体験活動や講話等を実施している。</p> <p>○各中学校区での体験入学・部活動交流を実施している。幼稚園児を迎えて生活科等で交流会を実施している。</p>
<p>施策評価</p>	<p>B</p>	
<p>評価理由</p>	<p>事業が概ね計画通り実施できた。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>産学官連携をどう推進していくか。</p>	

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 生涯学習活動の支援

(1) 生涯学習ガイドの発行

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①生涯学習ガイドの発行	○生涯学習ガイドの発行 ○冊子内容を市ホームページで提供	○300部発行。講師、講座、団体、資料、物品、施設情報の掲載を行った。各公民館・図書館・学校・コミュニティセンター・保健センター・老人福祉センター等の窓口への配布を行った。 ○市ホームページへの掲載を行った。
施策評価	B	
評価理由	予定部数を発行し、利用者への便宜を図ることができた。	
今後の課題	年度末からの情報収集や講師確認等の事前準備について出来るだけ期間短縮に努め、出来るだけ早く発行し、鮮度の高い情報を利用者へ提供できるよう努める。	

(2) 市民アカデミーの充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①市民アカデミーの充実	○市民アカデミーの実施 ○市民アカデミープロジェクトチームによる学習計画の充実・運営 ○公民館・地域交流館などの事業での活用	○1年生計25回（延べ1,150人）、2年生計18回（延べ378人）を実施（市役所、各公民館・中央駅前地域交流館等）。 ○生涯学習推進班より2名、各公民館・中央駅前地域交流館よりアカデミー担当者各1名、社会教育指導員1名により協議を行い、学習プログラム内容、要項、様式の見直し、地域活動課程の新設を決定した。 ○地域活動課程の修了以降、公民館等での活動を支援する仕組みを構築中であり、引き続き活用について検討を続ける。
施策評価	B	
評価理由	事業内容の改善に取り組み、公民館・地域交流館6館と生涯学習課で事業を行うこととなる1年目として、事業担当を中心に新たな形で事業に取り組むことができた。一方、公民館等担当職員と生涯学習課職員の役割分担が不明瞭な点など課題も残された。	
今後の課題	事業プログラム検討や、役割分担などについて明確にしていながら、事業内容の充実に努め、受講者の満足度が高いものになるよう取り組む。	

(3) 公民館・地域交流館事業の充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①公民館・地域交流館事業の展開	○市民ニーズや社会的課題をとらえた事業の実施	○パソコン講習会、年11講座、計33回（延べ385人）を実施（中央公民館、印旛公民館、中央駅前地域交流館）。 ・小林カレッジ、計9回（延べ157人）を実施（小林公民館）。 ・ふれぶん出前講座「骨を丈夫に！骨粗しょう症予防」計1回（34人）を実施（そうふけ公民館、そうふけ老人福祉センター共催）。 ・男の料理教室、年2講座、計7回（延べ54人）を実施（そうふけ公民館、本塾公民館）。 ・地域デビュー応援講座、計6回（延べ28人）を実施（中央駅前地域交流館）。 ・はつらつクラブ、計10回（延べ195人）を実施（中央駅前地域交流館）。 ・公開講座「生涯学習と地域づくり」（11人）を実施（中央駅前地域交流館）。 ・保育ボランティア体験、計3回（延べ27人）を実施（中央駅前地域交流館）。 ・ママデビュー講座、計7回（延べ244人）を実施（中央駅前地域交流館）。 ・育児相談、通年（延べ36人）、子育て支援サークル育成事業、通年（延べ224人）を実施（中央駅前地域交流館）。
施策評価	B	
評価理由	事業計画に沿った事業を実施し、概ね目標を達成することができた。参加者数については、市民ニーズに対応した事業の応募に比べ、社会的課題をとらえた事業の応募が少ない傾向にある。	
今後の課題	より実情に即した事業の展開及び内容の充実に努め、周知方法について検討していく。	

(4) 図書館サービスの充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①図書館サービスの充実	○図書・視聴覚資料などの貸出 ○レファレンスサービスの充実	○市内図書館6館において、延べ246、278人の利用者に対し、852、884点の図書館資料貸出を行った。 ○市内図書館6館において、窓口・電話でのレファレンスを20、659件受け付けた。

施策評価	B
評価理由	多くの利用者に図書館を活用していただくことができたが、前年度に比べて貸出数、レファレンス受付数ともに減少した。
今後の課題	利用者の要望に応えられるよう資料収集に努めるとともに、図書館サービスについての広報活動を積極的に進めていく。

(5) 視聴覚資料を活用した学習機会の充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①視聴覚資料を活用した学習機会の充実	○視聴覚ライブラリー事業の実施 ○視聴覚資料の貸出	○文化ホール・公民館等を会場に年5回開催。親子で楽しめる映画を上映した。参加者759名。 ○機材・教材の貸出しで多くの団体等が活用した。

施策評価	B
評価理由	ほぼ、計画通りに実施できた。
今後の課題	より多くの市民に楽しんでいただくため、題材を検討していく。

(6) 生涯学習まちづくり出前講座の実施

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①生涯学習まちづくり出前講座の実施	○学習機会を増やし、市民参画のきっかけとなる生涯学習まちづくり出前講座の実施	○市ホームページの他、町内会、自治会等を通じた回覧により、出前講座の周知に努めた。68件、延べ1,264名が受講した。

施策評価	B
評価理由	町内会、自治会等を通じた回覧により周知を図ったが、2年ほど利用件数、利用人数とも横ばいで推移している。講座数についても若干減少しており、計画上の目標数字に達していない。
今後の課題	出前講座の利用頻度の高い内容等を分析し、市民ニーズの把握に努めるとともに、関係課にも講座内容の見直しを行っていただき、出前講座プログラム全体の見直しを進める。また、出前講座の周知方法について検討を進める。

2 生涯学習推進体制の充実

(1) 生涯学習環境の整備・充実

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①生涯学習環境の整備・充実	○公民館・地域交流館や図書館の適正な維持・改修 ○生涯学習機能の充実 ○社会教育指導員の配置	○各公民館の施設老朽化部分等の改修を行った。 ○各公民館・交流館で、様々なジャンルの主催事業を展開した。また、各図書館において幼児・小学生を対象におはなし会や、図書館探検隊、図書館クイズ、科学あそび、クリスマス会、一般向け講座等各種事業を実施した。 ○生涯学習課及びスポーツ振興課に各1名配置し、施策、事業の推進に努めた。

施策評価	B
評価理由	概ね計画通り実施できた。
今後の課題	どの施設も老朽化が進んでいるため、適正に計画をたてて改修を行う必要がある。

(2) 産学官民の連携・協力

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①産学官民の連携・協力	○大学などの高等教育機関や企業などとの連携協力 ○市民・市民団体との連携・協力	○「親子でスポーツを体験しよう！」をコンセプトに順天堂大学生生涯学習公開講座（市・順天堂大学・酒々井町共催）を実施した。内容は、レクリエーション、陸上教室（俊足プログラム）、サッカー教室、ダンス教室で10月20日、11月17日、24日、12月1日の日曜日（全4回）、34名の参加があった。 ○市民アカデミーOB会の市民活動団体としての登録や活動について支援した。

施策評価	B
評価理由	順天堂大学生生涯学習公開講座は、実施計画の指標を上回る成果であった。実施内容に工夫を凝らして実施しているが、共催の酒々井町と比較すると、参加希望者が若干予定を下回った。
今後の課題	順天堂大学との包括協定締結後の事業のあり方や内容について、酒々井町及び順天堂大学とともに検討する必要がある。

(3) 社会教育関係団体の支援

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①社会教育関係団体の支援	○社会教育関係団体の支援 ○ボランティアの育成や地域で活動する個人・団体のネットワーク化の推進	○補助金による活動支援、事業後援等により活動を側面から支援した。(後援:21事業) ○生涯学習関係施設による連携会議で、事業連携等を検討した結果、読み聞かせボランティア養成の講座が企画された。また、市民アカデミーに地域活動課程を創設し、地域活動に取り組む人材の育成を図るべく事業を企画した。
施策評価	B	
評価理由	社会教育関係団体への支援、市民アカデミーの地域活動課程の創設等、概ね計画通り実施できた。	
今後の課題	市民アカデミー地域活動課程修了者を、どのようにして地域活動に参加させていくか。	

3 青少年の健全育成

(1) 「子ども110番の家」の推進

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①「子ども110番の家」の推進	○子ども110番運営委員会などの支援 ○子ども110番ステッカー・看板の提供 ○子ども110番の家災害補償保険の加入	○子ども110番運営委員会を6月に開催した。印西警察署による、青少年犯罪の現状等についての講話、子ども110番の家事業の趣旨説明等により、事業の周知を図った。 ○新規の協力申し込みや破損等による交換等に対応した。協力家庭・事業者数は1,574件。 ○協力家庭・事業者等の不測の事態に備え、保険に加入した。
施策評価	B	
評価理由	運営委員会で、印西警察署による講話を聴くという新たな試みを行った。	
今後の課題	協力家庭の実態把握がされていないことから、その把握について検討を進める。	

(2) 青少年健全育成大会の実施

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①青少年健全育成大会の実施	○親子で参加し、考える機会となる青少年健全育成大会の実施	○”社会を明るくする運動”とともに7月6日(土)に開催。”社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰者の朗読、小学校・中学校、印西ゆめ太鼓による舞台発表を行った。50名が参加した。
施策評価	B	
評価理由	概ね計画通り実施できた。	
今後の課題	舞台発表関係が、健全育成大会側の内容となるが、近年内容が固定化しつつあり、発想の転換や地域で活動している団体等の掘り起こしなどを行う必要がある。	

(3) 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実	○中学校区ごとに学校や地域で活動する団体が協力し、コミュニティづくりと生活環境の整備を図る地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実	○6中学校区(船徳中、木刈中、小林中、西の原中、滝野中、本埜中)で事業に取り組み、安全パトロール、声かけ運動、スポーツ活動、バザー等の様々な事業を地域の団体が連携協力し学校とともに活動した。
施策評価	B	
評価理由	ほぼ例年通りの事業展開が図れた。	
今後の課題	事業について生涯学習推進班内で協議し、モデル地区の設定、推進委員会全体会の開催、中学校区以外の複数校による取り組みを認める、推進委員会への社会教育施設の関与などの見直しを行い、次年度に実施にあたることとなった。	

(4) 成人記念式典の実施

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①成人記念式典の実施	○新成人運営スタッフの企画・運営による成人記念式典の実施	○24名の運営スタッフにより2回の会議を行い、企画・準備にあたり、式典当日の運営を行った。

施策評価	B	
評価理由	対象者1,285人のうち、出席者796人であり、ほぼ予定どおりであった。新成人が運営スタッフとして取り組んだことにより、自分たちの成人式を作っていくという気持ちが感じられる成人式を行うことができた。	
今後の課題	スタッフ人員の十分な確保が課題である。他には、迷惑行為を働く新成人等への対応をどのように行い、円滑な進行ができるか警備面も含め伊西警察等関係機関との協議が必要である。	

(5) 子ども読書活動の推進

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①子ども読書活動の推進	○図書館での読み聞かせ等の実施 ○学校での読書活動の推進	○通年で行うおはなし会に1,154名(全館)、夏のおはなし会に190名(大森,印旛,本埜)、クリスマス会に236名(大森,小林,小倉台,本埜)の参加者があった。 ○家庭教育学級で図書館司書・学校図書館司書による読み聞かせの指導のほか、ホームページなどを活用した広報・啓発を行った。

施策評価	B	
評価理由	○開催場所等により参加人数にばらつきはあったが、参加総数は概ね計画通り実施できた。	
今後の課題	○図書館のおはなし会等の催しに、より多くの参加者が集まるよう、内容に工夫をするのと同時に積極的な広報活動を行う。	

(6) 家庭教育学級の充実

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①家庭教育学級の充実	○各公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級開設 ○家庭教育学級主事会議の開催 ○家庭教育学級運営委員研修会の開催 ○家庭教育指導員の配置	○必修32学級、学年23学級、計55学級開設。1,805名の方が学級生として学んだ。 ○幼稚園長・小中学校教頭に家庭教育学級主事を委嘱、指導・助言にあたってもらった。4月18日、2月5日の2回主事会議を開催した。 ○各学級代表者を対象に、5月2日、2月6日の2回、研修会を開催した。1回目90名、2回目58名が参加した。 ○家庭教育指導員1名を配置し、指導助言にあたった。

施策評価	B	
評価理由	ほぼ計画通りに実施できた。	
今後の課題	少子化の影響で、1学年の入学者がなかった学校がある一方、マンション開発等による入居者の増から百名を超える入学者がある学校があるなど、学校間の格差や地域性などの課題を含め、内容の面で、実効性のある家庭教育の学びとはどのようなものが良いのか検討する必要がある。	

4 スポーツ環境の整備・充実

(1) スポーツ参加機会の拡充

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①スポーツ情報システムの充実	○公共施設予約システムの有効活用 ○スポーツ情報の集約と多様な情報の提供	○公共施設予約システム 登録者数3,252組（183組の減） ○市ホームページ、体育協会ホームページ、広報誌へ各種行事等を掲載し、情報提供を行った。また、体育協会の機関だよりの発行を支援した。（年2回）
②市民参加型スポーツの普及・推進	○市民ニーズに対応した各種スポーツ教室の支援 ○高齢者のスポーツ活動の支援	○全9種目のスポーツ教室の開催及び支援を行った。 ○指導者派遣事業や、スポーツ備品等の整備及び貸出しを実施した。
③スポーツによる健康づくりの推進	○ニュースポーツ教室・大会の支援	○スポーツ推進委員による、ニュースポーツ教室（9回）及び大会（2回）を開催した。
④市民ぐるみのスポーツイベントの推進	○スポーツセミナーの開催	○腰痛の予防改善をテーマにセミナーを実施した。
⑤スポーツイベントの誘致	○イベントの開催や各種スポーツ大会・教室の支援 ○大規模なイベントの誘致	○スポーツフェス（体育の日行事）や実行委員会主催によるラグビーまつり、正月マラソンを開催した。 ○関東大学女子駅伝、関東高等学校空手道選抜大会を開催した。

施策評価	B
評価理由	スポーツフェスの開催や、クライミング教室及びリフレッシュ教室（リズム体操・ヨガ）を実施し、市民がスポーツに親しむ機会の増加を図ることができた。
今後の課題	市民が、今まで以上に参加しやすい事業の展開や周知の方法について検討を図る必要がある。

(2) 特色あるスポーツ事業の展開

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①クライミングの普及・推進	○団体の育成と施設の整備検討	○市主催事業の講師として、一部を市フリークライミング協会が担当した。

施策評価	B
評価理由	概ね順調に事業を行うことができた。
今後の課題	市の特色あるスポーツの推進と利用促進を図るため、教室及び講習会の充実に努めていく必要がある。

(3) スポーツ・レクリエーション施設の充実

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①利用者の視点に立った施設運営	○スポーツ施設の管理・運営 ・総合体育館 ・陸上競技場 ・野球場(8ヶ所) ・テニスコート(23面) ・弓道場(2ヶ所) ・多目的運動広場 ・多目的球技場 ・パークゴルフ場	○各施設の利用状況 93,903人 20,272人 75,991人 55,173人 1,928人 27,923人 13,278人 6,428人(7月オープン)
②学校体育施設利用の推進	○学校体育施設の利活用推進	○市内小中学校29校を一般開放し、184団体・4,129人が利用している。(稼働率 小学校89% 中学校90%)
③スポーツ施設利用の多様化への対応	○民間施設の有効活用 ・東京電機大学平岡グラウンド ・印旛高校跡地野球場・多目的広場 ・六軒河川敷広場	○各施設の利用状況 15,245人 3,629人 2,500人

施策評価	B
評価理由	除染工事や、施設の改修等があったが概ね順調に事業を行うことができた。
今後の課題	一部の施設においては、大会規模により駐車場が不足している。

5 スポーツ推進体制の充実

(1) スポーツ指導者等の育成

事業	事業内容(平成25年度目標)	平成25年度実績
①スポーツ指導者の育成	○スポーツ推進委員活動の促進 ○スポーツ少年団指導者の拡充と資質向上 ○生涯スポーツ等指導者の育成	○スポーツイベントの企画・立案を行った。(委員数 30名 平均出勤日数 16日) ○県スポーツ少年団認定養成講習会に参加した。 ○県・郡主催のニュースポーツ研修会等に参加した。
②スポーツリーダーバンクの構築	○スポーツリーダーバンク登録者の活用	○リーダーバンク登録者を取りまとめ、団体等からの要請に応じる体制を整えた。
③スポーツボランティアの育成	○スポーツボランティア活動の促進	○各種スポーツイベントを、ボランティアスタッフと連携し運営した。
④スポーツ団体等の活動支援	○体育協会への支援と連携 ○スポーツ少年団への支援と連携	○体育協会に補助金を交付し、運営や市民大会等の開催を支援した。 ○スポーツ少年団に補助金を交付し、市交流大会の実施や各大会の開催を支援した。
⑤競技力向上の推進	○市民スポーツ大会の開催 ○郡市民体育大会・県民体育大会への選手派遣 ○トップレベル選手との交流機会の提供	○体育協会が中心となり、19競技34大会の開催を支援した。 ○郡市民体育大会において、320人を派遣し、16競技24種目、全競技に参加した。(相撲競技は中止。総合2位) 千葉県民体育大会においては、16競技63名を派遣した。 ○ラグビーまつり及び関東大学女子駅伝の開催により、トップレベルの選手との交流機会を提供した。

施策評価	B
評価理由	事業は概ね順調に実施できた。
今後の課題	各団体ともに充実した活動を行っており、継続的な支援が必要である。

(2) 総合型地域スポーツクラブへの支援

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①総合型地域スポーツクラブの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○総合型地域スポーツクラブの設立支援 ○総合型地域スポーツクラブの充実 ○市民への啓発活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規設立に向け、活動拠点となる施設を検討した。 ○スポーツ備品等の貸出し、活動場所の確保による支援を行った。 ○総合型地域スポーツクラブの啓発パンフレットを配布した。
施策評価	B	
評価理由	概ね計画通りに実施できたが、新規団体の設立には至らなかった。	
今後の課題	活動拠点となる学校施設が飽和状態であり、また民間の参入など市内に多数のスポーツクラブがある中、改めて総合型地域スポーツクラブの必要性やあり方を見直す必要がある。	

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化]

1 文化・芸術活動の推進

(1) 芸術・文化に触れる機会の拡大

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①文化・芸術事業の充実	○文化ホール主催事業等の実施	○鑑賞型事業9事業、参加型事業1事業、地域文化振興型事業1事業、計11事業を実施した。その内、チケット制による有料公演は鑑賞型8事業及び参加型1事業の9事業で、チケットの平均売上率は71%であった。
施策評価	B	
評価理由	計画した11事業はすべて実施することが出来たが、事業によりチケットの売上率は、目標とした数字に届かないものもあった。しかし、入場率は24年度より5%ほど増えており、全体的には概ね目標どおり実施できた。	
今後の課題	公演内容によりチケット売上率の差が非常に大きい。文化・芸術の発信拠点となる文化ホールでは様々なジャンルを提供する事を考えており、集客の見込める事業のみではない。宣伝方法を考えより多くの人に提供していきたい。	

(2) 市民の自主的な活動の支援

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①芸術・文化活動の支援	○市民文化祭の実施 ○芸術文化団体活動への支援 ○芸術文化情報の提供 ○（仮称）印西市文化・芸術振興計画策定に向けた検討の実施	○第18回市民文化祭を実施した。 展示部門・催し部門・大会事業・発表部門 期間：10月13日～11月17日 会場：文化ホール（発表）、総合福祉センター（大会）、中央公民館（展示・催し・大会） ※一部の催しが台風の影響により中止となった。 ○共催や後援など、活動・発表の場のサポート、事業実施内容の情報提供を行った。 ○公民館、文化ホール等の窓口へのポスター・チラシ等の配布、関係団体への資料提供を行った。 ○市文化芸術に関する基本方針について、芸術文化団体への周知するなど、計画策定に向けた検討を進めた。
②地域文化活動の支援	○地域文化活動の拠点支援 ○市民の地域文化活動への支援	○対象となる事業が無かったため、実績なし。 ○木下まち育て塾の企画提案による印西市木下地区歴史講座事業を協働事業として実施した。また、印西ふるさと案内人協会や印西地域史研究会の歴史講座事業を後援するなどの活動支援を行った。
施策評価	B	
評価理由	市民文化祭の演目の一部が台風の影響により中止となったが、事業は概ね順調に実施できた。	
今後の課題	印西市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、引き続き文化・芸術の振興を図る。	

2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護

事業	事業内容（平成25年度目標）	平成25年度実績
①指定文化財保護事業	○有形文化財、史跡及び天然記念物の保存 ○無形民俗文化財の継承支援 ○文化財の普及啓発	○文化財所有者に対し、保存・管理に対する指導・助言を行ったほか、防災設備等の保存管理経費に対し補助金を交付し、支援を行ったほか、木下貝層や泉新田大木戸野馬堀遺跡の環境保全に努めた。 ○指定文化財の各所有者に対し、保存・管理に対する指導及び助言を行ったほか、伝承継承活動に対し補助金を交付し、支援を行った。 ○「印西市の指定文化財」パンフレットを配布したほか、指定文化財の周知等を図り普及啓発に努めた。
②文化財基礎調査事業	○仏像調査・石造物調査の実施 ○仏像調査報告書の刊行	○旧本埜村域において仏像調査、石造物調査を実施した。 ○「印西市の仏像（印西地域編）」を刊行した。
③埋蔵文化財の保護事業	○市内主要遺跡調査の実施 ○埋蔵文化財の取扱い事務及び埋蔵文化財包蔵地の保護 ○道作古墳群整備事業の推進 ○市内埋蔵文化財分布調査の実施	○当該遺跡が無く未実施。 ○発掘調査の実施により、開発行為から埋蔵文化財を保護した。 ○道作古墳群整備に向け、土地の取得と実施設計を行った。 ○旧印旛村岩戸・吉田地区、旧本埜村笠神・中根・物木・滝・龍腹寺・荒野・角田地区において市内埋蔵文化財調査を実施した。

施策評価	B
評価理由	各事業について、概ね順調に実施できた。
今後の課題	道作古墳群整備をはじめ、史跡等の整備に努め、引き続き具体的に取り組んでいく必要がある。また、文化財保護のための基礎調査を継続して実施し、成果の公表に向けた準備が課題となる。

(2) 文化財の活用

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①文化財の活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ○有形文化財、史跡及び天然記念物の活用 ○無形民俗文化財の公開 ①八幡神社の獅子舞②平岡鳥見神社の獅子舞③別所の獅子舞④いなざき獅子舞⑤鳥見神社の神楽⑥浦部の神楽 ○埋蔵文化財の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○木下貝層の採集観察会および民具資料の出前講座を実施した。 ○県・市指定の無形民俗文化財6件について、無形民俗文化財公開事業を実施した。25年度実施日(①4月21日、②5月3日、③8月24日、④9月23日、⑤10月17日、⑥10月20日)。 ○該当する箇所が無く事業未実施。 ※資料館事業参照(出土品の展示及び出土品を教材とした体験教室の実施)
②印旛歴史民俗資料館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市域の考古、歴史、民族等の資料の収集・保管・調査・研究及び成果の公表 ○常設展示及び企画展示の実施 ○講座及び体験型事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵資料の保存処理、実測等を行い、利用に供する準備を行った。 ○第5回企画展「舞う一祈りを込めて」を実施した。来館者数176人。 ○「勾玉づくり」「土器づくり」「わら細工」の体験教室を実施し、延べ45人の参加があった。

施策評価	B
評価理由	各事業について、概ね順調に実施することができた。
今後の課題	保護事業による成果を含め、資料館事業との調整を図りながら、指定文化財を中心とした普及・啓発事業を計画的・効果的に実施していく必要がある。

3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①市史編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> ○第一次市史刊行に向けた資料収集・調査・分析等の実施 ○市史講座等の実施 ○市史講座記録集の刊行 ○市史刊行物の頒布 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料収集(近代新聞資料の複写、地域情報紙、広告資料)及び史料調査(学校資料所在調査他10件)を実施した。その他、市史編さん専門委員編集会議(2回)、同専門部会(近現代部会・4回)を開催した。 ○市史編さん講演会「近代の印旛沼・手賀沼」 実施日：平成25年12月8日(日) 実施場所：中央駅前地域交流館 講師：高林直樹氏(市史編さん専門委員) 参加者：34名 その他：刊行物販売 ○「市史編さん講演会記録集」を刊行 ○193冊を有償頒布した。また、印西の歴史第7号332冊、印西の歴史第7号別冊「印西の歴史から縄文文化の謎を探る記録集」268冊を関係機関に頒布した。 有償頒布場所：市役所生涯学習課、資料整理作業所、各公民館、中央駅前地域交流館、印旛歴史民俗資料館

施策評価	B
評価理由	市史編さん講演会への参観者数、市史刊行物の有償頒布数が前年度を下回ったものの、市史刊行へ向けた資料収集・調査・分析等を実施した。
今後の課題	市史編さん事業の市民への広報を通じて周知・理解を図り、事業への協力を促進する。

(2) 地域史料の保存と活用

事業	事業内容 (平成25年度目標)	平成25年度実績
①地域史料の保存及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ○地域史料の調査及び収集 ○地域史料の整理保存及び活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○市外所在の地域史料を調査(1件)史料の寄贈1件、寄託1件、借用4件 ○保管資料の整理を進めたほか、保管資料のくん蒸消毒を実施した。また、保管資料の利用33件(閲覧12件、掲載8件、貸出2件、撮影3件、その他8件)があった。
②歴史公文書の収集、整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史公文書の引継移管 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度引継 文書保存箱138箱 ・保管総数 1,508箱以上(印旛歴史民俗資料館収蔵資料を除く) ・閲覧 3件

	○歴史公文書の調査研究	○印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会や千葉県史料保存活用連絡協議会等の研修会に参加した。
--	-------------	--

施策評価	B
評価理由	目標とした事業は概ね実施できた。
今後の課題	今後も史料保存の環境整備に努めるとともに、その有効な活用についても調査研究を進める。

おわりに

1 評価内訳

具体目標における主な事業毎の評価内訳は、以下のとおり。

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 健やかな心と体を育む教育の推進

番号	重点施策	評価
(1)	きらり輝く印西の子ども育成事業の推進	B
(2)	読書活動の推進	B
(3)	食育の推進	B
(4)	健やかな体を育む教育の推進	B
(5)	豊かな心を育む教育の推進	B
(6)	幼児教育の充実	B

2 活力ある学校づくり

(1)	学習指導の充実	B
(2)	きめ細やかな教育支援の推進	B
(3)	国際理解教育の推進	B
(4)	教育の情報化の推進	B
(5)	特別支援教育の推進	B
(6)	学校・幼稚園施設の充実	B

3 学校・家庭・地域の連携強化

(1)	学校安全の推進	B
(2)	開かれた学校づくりの事業	A
(3)	教育資源の活用	B

II. 生涯学習を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する 〔生涯学習・生涯スポーツ〕

1 生涯学習活動の支援

(1)	生涯学習ガイドの発行	B
(2)	市民アカデミーの充実	B
(3)	公民館・地域交流館事業の充実	B
(4)	図書館サービスの充実	B
(5)	視聴覚資料を活用した学習機会の充実	B
(6)	生涯学習まちづくり出前講座の実施	B

2 生涯学習推進体制の充実

(1)	生涯学習環境の整備・充実	B
(2)	産学官民の連携・協力	B
(3)	社会教育関係団体の支援	B

3 青少年の健全育成

(1)	「こども110番の家」の推進	B
(2)	青少年健全育成大会の実施	B
(3)	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実	B
(4)	成人記念式典の実施	B
(5)	子ども読書活動の推進	B
(6)	家庭教育学級の充実	B

4 スポーツ環境の整備・充実

(1)	スポーツ参加機会の拡充	B
(2)	特色あるスポーツ事業の展開	B
(3)	スポーツ・レクリエーション施設の充実	B

5 スポーツ推進体制の充実

(1)	スポーツ指導者等の育成	B
(2)	総合型地域スポーツクラブへの支援	B

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化〕

1 文化・芸術活動の推進

(1)	文化・芸術に触れる機会の拡大	B
(2)	市民の自主的な活動の支援	B

2 文化財の保護・活用

(1)	文化財の保護	B
(2)	文化財の活用	B

3 市史編さん事業の推進

(1)	市史編さん事業の推進	B
(2)	地域史料の保存と活用	B

※ 評価基準

- A 事業の目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。
- B 事業の目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。
- C 未達成事業が多く、施策の進捗がほとんど認められない。

2 施策別評価

主な施策における主な事業の評価内訳数は以下のとおり

番号	主な施策	主な 施策数	主な 事業数	主な事業の評価数		
				A	B	C
I	生きる力を持ち未来を拓く 子どもを育む〔学校教育〕	3	15	1	14	0
II	生涯を通して学びスポーツ に親しめる環境づくりを推 進する 〔生涯学習・生涯スポーツ〕	5	20	0	20	0
III	心に豊かさをもたらす文化 の保護と振興を図る〔文化〕	3	6	0	6	0
計		11	41	1	40	0

3 まとめ

平成25年度版「印西市の教育施策」の点検及び評価を行った結果、I～IIIの目標を達成するために掲げている全11の主な施策における、41（昨年度から9事業増）の主な事業中、40事業がB評価、A評価が1事業という結果になりました。これは、実施事業にA評価の要素となる「目標が達成されている」事業があるものの、「計画以上の施策の進捗が認められる」とまでは評価できず、B評価の要素となる「目標が概ね達成されている」事業が大部分であると評価されたことによるものであります。

B評価は、「事業の概ね達成、施策の進捗」を意味することから、全体として市の教育施策は進捗しており、今後もさらなる施策の推進を目指してまいりたいと考えております。

なお、学識経験者の皆様からは、主に次のような御意見をいただきました。

この御意見につきましては、報告書素案時にいただいたものです。報告書の記載内容など、すぐに反映できるものにつきましては、最終報告書に反映しております。

(学校教育分野)

学校教育の施策が体系的・具体的に整理されており、理解しやすい内容となっています。また、教育委員会は学校教育が取り組むべき事業を精査し、計画的に確実に推進されていると感じました。

「健やかな心と体を育む教育」を基調とし、「生きる力を持ち未来を拓く子供を育む」を学校教育の主たる施策としており、「知・徳・体」のバランスをよく考えた内容で推進されています。

○「1 健やかな心と体を育む教育の推進」について

「きらり輝く印西の子どもの育成」事業を継続し、特色ある印西の教育に育てあげていく姿勢が良いと思います。特に小学校駅伝競走大会は創設以来、小学校と教育委員会の協力のもと着実に成果をあげ、印西市の特色ある教育活動として成長してきた事は他の範たる内容と思います。また、ものづくり体験は多くの児童が体験できるように工夫努力がされていると思います。今後も継続した取り組みを願いたいと思います。

読書活動は子どもの心を育む上で大変有意義な内容です。学校図書館システムの構築及び学校図書館司書の配置は、図書館教育を大きく前進させたものと思います。学校図書館司書の全校配置にむけ更に努力願いたいと思います。

「食育の推進」は、子どもの健やかな体を作る上で欠かすことができない内容です。教育委員会がいち早くこれに取り組み、栄養士による栄養指導、食物アレルギー対策など内容に充実性が伺えます。

「健やかな体を育む教育の推進」においては、9項目にわたり熱心な取り組みが伺えます。また、中学校における部活動指導に対しても、サポーターを派遣するなど指導者不足など懸案事項の解決に対応しています。併せて子ども達への健康促進のために、多項目にわたり取り組むなど大変努力されている姿が伺え、安心感を覚えます。

「豊かな心を育む教育の推進」においては、道德教育・人権教育を学校現場と連携した教育活動を計画的に推進し、心の育成に努力していると思います。また、地域の先人の業績や地域の教材化を通し学習を進めることは、先人の偉業を知るとともに「郷土愛」を深める教育に大いに役立ちます。今後とも継続した取り組みが必要と思います。

「幼児教育の充実」においては、研修を充実させ実践力のある職員の育成に努力し一定の成果を上げていることは、保護者への信頼につながるることから、今後とも専門職としての知識・技量を高める研修の取組みが大切になってくると思います。

○「2 活力ある学校づくり」について

学校教育が充実するためには、教員の資質向上に努めることが大切です。教員にとって「研修」は必要不可欠な内容であり、指導課を中心とした各種

研修の取り組みは、現場の活性化の一助となっていることと思います。特に指導法の研修は教員の日々の実践教育に必要な内容であり、計画的に実施していることは教育の質の向上に役立っていることと思います。

「きめ細やかな教育支援の推進」にあっては、不登校をはじめとした多種の教育課題を解決すべく事業を展開していることが伺えます。教育の支援活動は、保護者への安心感と児童生徒の安心場所として位置づけられていると思います。更に推進していくことが大切なことと思います。

「国際理解教育の推進」は、ALTを各校に派遣し国際理解教育の推進に大きな役割を果たしていると思います。今後「英語」が学習活動に位置づけられます。教員とALTの連携の在り方を研究し、充実した英語教育の推進が望まれます。

「教育の情報化の推進」にあっては、印西市が他市町村をリードしています。いち早くICT推進し、校務システム・学校ホームページなど大変充実した内容で取り組まれていることは他の範となる内容と思います。また、電子黒板やタブレットを導入しての授業改善は、授業のあり方を変革していくことになってくると思います。今後、ICT活用の教育活動はさらに推進されてくると思いますので、本市が先駆的な役割を果たしていただきたいと思います。

「特別支援教育の支援」にあっては、現場のニーズに応じ丁寧な内容で取り組んでもらっています。特別支援を要する児童生徒はきめ細かな指導が大切です。何よりも保護者の信頼を得た中での教育活動が必要です。印西市は就学指導委員会が有効に機能しており、学校現場と密着した運営をしています。また、各校には通常学級指導員・介助員の配置が充実し、きめ細かな教育活動が展開されています。このような取り組みは保護者への安心と信頼をもたらすものと思います。

「学校・幼稚園施設の充実」にあっては老朽化が進む中、施設の点検をよく行い、修繕によく努力している姿が伺えます。今後、雨漏り対策など計画的に対応できることが望まれます。また、学校備品の老朽化・不足が見られ、教育活動に支障をきたす点があります。新たな指導要領の内容を実施していく上で、備品の整備は必要不可欠なことです。計画的に整備できるよう努力して頂きたいと思います。

○「3 学校・家庭・地域の連携強化」について

「学校安全の推進」にあっては、安全教育の充実が大変図られていると思います。特にメール配信システムの活用は、防犯の即応のための情報伝達に大変役立っていると思います。本市は地域によって交通事情等に大きな差異がありますが、通学路等の点検を始め、子ども達の安全確保に努力している姿が伺えます。引き続いての取り組みが必要と思います。

「開かれた学校づくりの事業」にあっては、学校ホームページや学校広報を活用し日常の学校生活が分かり、保護者や地域への学校情報発信として大

いに役立っていることと思います。情報の発信は学校の理解に貢献しますので、今後とも取り組んで行く必要があると思います。

「教育資源の活用」は、本市の教育活動の特色を打ち出す一環となっています。各学校が行っているキャリア教育は、地域の教育力を生かした取り組みであり、子ども達が「仕事」を直接学べる貴重な時間となっていることと思います。また、幼小中学校の交流活動は学校理解の一助となっています。交流活動は貴重な時間ですので今後とも継続実施が大切だと思います。

本市の教育活動は、「健やかな心と体を育む教育」を基調に多種の活動・支援により確実に推進されています。今後、新たな視点からの教育活動が求められるかと思えます。教育委員会と幼稚園及び小中学校の連携を更に強め、教育活動が一層充実し、印西市の子ども達が健やかに育まれること期待しています。

(生涯学習分野)

<Ⅱ 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する>

始めに生涯学習活動の支援、生涯学習推進体制の充実、青少年の健全育成の項目について、細かい評価項目が設定されており、分かりやすく、評価も具体的になっているのではないかと思います。

「1 生涯学習活動の支援」や「2 生涯学習推進体制の充実」の評価は妥当であると思えます。これらの評価を更に高めるために私の考えを述べます。

生涯学習が教育の中核であり、「生涯学習によるまちづくり」と言われて数十年が経過しております。しかし、一方で指定管理制度が導入されて他の都市では本来の学習が後退し、趣味や個人の教養の育成にシフトしていると聞き及んでおります。勿論、私もそのような学習を否定するものではありませんが、公的機関が計画する学習とは、地域住民の学習意欲を高め、学んだ成果を地域社会の発展のために還元することにこそ意味があると考えます。こういう点から考えてみると、印西市の生涯学習課では生涯学習活動の支援やその推進に努力しており、特に、生涯学習の中核を担う公民館や地域交流館、図書館等の活動を活発化させ、「生涯学習によるまちづくり」の考え方や実践が脈々と続いていることは素晴らしいと思えます。

参考までに、私が印西市民アカデミーを8年間担当して感じたことは、住民一人一人が充実した人生、それも何か出来ることを社会に貢献したいという意欲をひしひしと感じました。そのために、自分が住んでいる地域の歴史や自然・産業についてもっと学びたい、市の行政方針や実践について学びたい、幼児・児童との世代間交流を図りたい、地域の高齢化社会に伴い、地域の人々が手を携えて安全・安心のまちづくりについて学びたい等々多くの人がこのような学習内容を学んでおりました。

この市民アカデミーの充実を図ると共に、修了後地域の中で活動を促すために、地域活動課程を創設して実行していることに期待が持てます。私が主催している「印西ふるさと案内人」の事業にも大勢の方が意欲を持って実習をしてくださいました。そして各公民館等の特色を生かして、市民のニーズや社会的課題をとらえた事業も素晴らしいと思います。しかし、同じ人が何回も参加しているという話も聞いており、今後、周知方法に工夫を凝らして更に多くの方が参加してくださればと思います。

また、これら住民が求める学習と共に、学校との連携による児童・生徒対象の事業（例えば、小学生の通学合宿や中学生の子育て体験等）や福祉・環境など様々な課との連携による今日的な課題を横断的に進める出前講座の充実と拡大を切に望むものであります。

一方、人権学習について触れていないことが気になります。これからも公民館等で活躍している団体やグループに対し、生涯学習に関する指導・助言を積極的に行うとともに、住民の学ぶニーズに応ずる情報の収集や提供、相談体制の整備を更に進められることを希望します。これら生涯学習が充実するかどうかは、職員数の確保とその専門性や指導力を向上させることが急務であります。財政が厳しいと言われていますが、生涯学習を充実させることはまちづくりの大きな要因になることをご理解いただいて、是非とも職員の充実を図ってもらいたいと考えます。

「3 青少年の健全育成」の推進への取り組みの評価も妥当と考えます。

青少年健全育成については、誰もが努力しなければならない課題と思いつつも、その実践になると難しい状況であると常々思っています。特に、学校と連携して進めなければならない家庭教育学級が以前と比べて停滞しているように思います。それも常設の家庭教育学級でさえ、働く母親が多くなったり、関心が低かったりして出席率が低く、各学校で苦悩している話を聞きます。何といたっても青少年の健全育成は小さい頃からの家庭教育が大切です。学校間の格差や実効性のある家庭教育の学びはどうあれば良いかが課題として出されておりますが、更なる努力を期待いたします。

一方で青少年の健全育成には、小さい頃から多くの人とふれあい、様々な体験をすることが重要であります。異年齢の小学生、小学生と中学生や高校生、また地域の様々な大人との交流を通して、逞しく成長すると考えます。青少年健全育成協議会やPTA・さわやかコミュニティ等各種教育団体をリードして、更なる事業の充実を希望いたします。合わせて、子育て支援課で実施している「学童保育事業」の充実に関して、この事業が異年齢の子ども達で構成されており、上級生が下級生をリードし、下級生は上級生の優しさや逞しさに触れることで、現在では見られなくなった子ども達ならではの社会を形成できることから、学校や生涯学習課と連携できないものかと考えます。

また、青少年健全育成大会の在り方について、課題が挙げられております。

私も以前からもっと子ども達の健全育成に協力しなければと思っておりましたが、地域で日常的に活動されている団体の掘り起こしや紹介などを行う必要があると述べられており、その実現に尽力されることを期待いたします。

最後に、地域の大人達全てが子ども達の善行等を認め、学校や教育委員会へ報告する「子どもの素敵なお心見つけホットライン」を提案いたします。

<Ⅲ 心豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る>

「1 文化芸術活動の推進」、「2 文化財の保護・活用」、「3 市史編さん事業の推進」の評価項目についても、それぞれ妥当と考えます。

「芸術・文化に触れる機会の拡大」の課題として、様々なジャンルで文化を提供したいとされていることに、大いに賛成します。また、「市民の自主的な活動の支援」については、順調に実施できているとのことで大変良かったと思います。文化財の保護や整備、基礎調査を継続し、成果の公表に向けて努力されていること、更に文化財の普及や啓発活動にも力を入れていることについては、今後益々期待が持てると感じます。

また、指定までいかない文化財や史跡について、案内板を設置されているようであり、住民にとっては非常に有難いとの話も聞いております。更に本埜・印旛地区の石造物や埋蔵文化財調査も計画に進められていることは評価できます。

一方、過去に甚大な水禍を受けた発作や亀成地区の人々の生活の知恵から生まれてきた水塚の保存について、一考をお願いいたします。

文化財や市史資料等は活用することや多くの市民に理解してもらうことに意義があると考えます。その点では、歴史講座の開設や印旛歴史民俗資料館を中心に企画展などが実施されていることは素晴らしいと思います。未来に生きる子ども達をもっと文化財等について学ぶ機会があればと常々思っていますが、学校の教師の意識の変容と社会科教育の改善が必要となりますので、教育現場と連携を図りながら、地域に根差した教育を推進していただきたいと考えます。

(スポーツ振興分野)

スポーツ振興分野では、「生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する」を政策に掲げ、主な施策として「4 スポーツ環境の整備・充実」及び「5 スポーツ推進体制の充実」に向け、関係機関等と調整を図りながら展開していることと思われる。

まず、「スポーツ環境の整備・充実」においては、市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動に親しみ、体力向上や健康の保持・増進を図っていけるよう、スポーツ・レクリエーションに参加しやすい環境の整備や、スポーツ人口の拡大を図るための取り組みとして、多くのス

ポーツ教室や大会を開催していることが伺える。

スポーツ施設利用では、本年度オープンしたパークゴルフ場も順調に利用されており、次年度に計画されている高校総体空手道競技やクライミングワールドカップを始め、スポーツイベントを通じた各施設の利用促進を含め、より一層のスポーツ事業への取り組みに期待したい。

次に、「スポーツ推進体制の充実」においては、市民のスポーツ活動を支える中心的役割のスポーツ推進委員や市体育協会、市スポーツ少年団等、各種団体の育成・支援の充実を図るとともに、併せてスポーツにおける競技力や指導力の向上に努め、市民、団体及び行政等が連携・協働できる体制の強化に努めていただきたい。

近年、松山下公園ではスポーツ等の活動拠点となる総合体育館が整備されたことで、多くのスポーツ愛好者に利用されている。反面、スポーツ行事によっては、駐車場が手狭になるケースも見受けられ、今後はその対応について検討をお願いしたい。

最後に、当市のスポーツへの取り組みについては、各方面から高い評価を得ていることを申し添えるとともに、主な事業ごとにまとめた「今後の課題」について検証を行い、その解決に向けた取り組みを着実に進めていただけるよう希望する。

貴重な御意見、ありがとうございました。

今後の教育施策に活かすため、検討してまいります。

この点検評価報告書の作成の意義として、市教育委員会がその所掌事業について自己点検を行うことで現状を把握し、計画の実現に向けて事業の精査を図るとともに外部学識経験者の皆様からいただいた御意見を検討し、翌年度の教育施策に反映させることであると考えております。

つきましては、今回の点検・評価をもとに重点施策ごとの今後の課題の克服に努め、事業の合理化を進め、市民のみなさまの御意見を取り入れながら、必要に応じて現行施策の見直しを図り、重点施策の進捗、教育施策に掲げる目標の達成に努めてまいります。